使用温度範囲					用規格	用	適				
電流	E2)	-10 °C~ +60 °C (≥	:存温度範囲	-45 °C~ +125 °C (注1)	使用温度範囲						
性 能	1)	DF12#-*DS-0. 5V (8	×	AC 50 V	電圧	電	官格	5			
項目	6)	DF12#-*DS-0.5V(8	週合コネクタ	0.3 A	電流	電					
特観・構造・仕上げ 目視・寸法測定器にて測定する。 図面と合致していること。 (能								
特観・構造・仕上げ 目視・寸法測定器にて測定する。	QT AT	格	規	試験方法		項目					
性 表示 目視にて確認する。	0 0	ること。	図面と合致している	法測定器にて測定する。	造, 仕上げ 目視, 寸	造, 仕」	外観,構建				
横横	0 0			確認する。	目視にで	表示					
機械的性能	0 –		50 mΩ以下	C又は 1000 Hz)で測定する。	100 mA (接触抵抗 10					
横横	0 –		500 MΩ以上	で測定する。	DC 100	絶縁抵抗 DC					
機械的性能	0 -	ないこと。	せん絡・絶縁破壊が	の電圧を 1 分間印加する。	AC 150		耐電圧	性能			
(②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。) 耐振性 周波数 10~55 Hz、片振幅 0.75 mmで ① 1 μ s以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②では、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②では、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②では、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②では、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②では、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②では、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②には、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②には、この MΩ以上 ②では、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②には、この MΩ以上 ②を持れ、この MΩ以上 ②を持れ、この MΩ以上 ②をすれが、こと。 ③では、ひび、部品のゆるみがないこと。 小観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。 「き半田(リペア)の場合 】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 -	(N)以下 (N)以上 23.4 2.6 27.0 3.4 29.0 4.0 30.6 4.2 34.2 5.0	20 30 36 40 50	クタで測定する。	カ 適合コギ	ī.力	総合挿抜	機械的性			
3 方向 各 2 時間試験する。	0 -		O 124112-174		繰り返し動作 50 回の打						
耐衝撃性 加速度 490 m/s²、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②では半波 3 方向 各 3 回試験する。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②に弦半波 3 方向 各 3 回試験する。 ②を付しているのが、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	0 -										
正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 環 定常状態の耐湿性 温度 40 ± 2℃、湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。 ②絶縁抵抗:500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 温度 −65 → 5~35 → 125 → 5~35℃ 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15分 を 5 サイクル 試験する。 平田耐熱性 【リフロー半田付けの場合】 《リフロー部)MAX 250 ℃ピーク 220 ℃以上 60 秒 以内 《予熱部》 150~180 ℃ 90 ~120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田(リペア)の場合 】 半田ごてで 350 ℃、3 秒の条件にて半田付けを 行う。但し、端子に力を加えないこと。	_										
環境的的性 温度 40 ± 2℃、湿度 90~95 %中に ②絶縁抵抗: 50 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	0 -										
 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15分 を 5 サイクル 試験する。 半田耐熱性 【 リフロー半田付けの場合 】 《 リフロー部 》MAX 250 °Cピーク 220 °C以上 60 秒 以内 《 予熱部 》 150~180 °C 90 ~120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田 (リペア) の場合 】 半田ごてで 350 °C、3 秒の条件にて半田付けを行う。但し、端子に力を加えないこと。 	0 -	nΩ以下 MΩ以上	①接触抵抗: 50 m ②絶縁抵抗: 500	± 2℃、湿度 90~95 %中に	の耐湿性 温度 40 96 時間	の耐湿	定常状態	環境的			
《 リフロ一部 》MAX 250 ℃ピーク 220 ℃以上 60 秒 以内 《 予熱部 》 150~180 ℃ 90 ~120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田(リペア)の場合 】 半田ごてで 350 ℃、3 秒の条件にて半田付けを 行う。但し、端子に力を加えないこと。	0 -	MΩ以上	時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15分 ②絶縁抵抗: 500 MΩ				温度サイ	性能			
二酸化硫黄 濃度10 ppm 96 時間放置する。 ①接触抵抗・50 mQ以下 (0 -	• • •		コー部 》MAX 250 ℃ピーク 220 ℃以上 60 秒 以内 部 》 150~180 ℃ 90 ~120 秒 コーは同条件にて2回まで可能 田(リペア)の場合 】 ごてで 350 ℃、3 秒の条件にて半田付けを	《 リフ 《 予熱 リフ 【 手半 半田	性	半田耐熱				
	0 -		O			黄	二酸化硫				
	0 -	ηΩ以下	①接触抵抗: 50 m			;	塩水噴霧				
②はなはだしい腐食がないこと。		きがないこと。	②はなはだしい腐1				<u> </u>	/# -			

備考

- (注1)通電時の温度上昇を含みます。
- (注2)保存とは基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表し、基板搭載後の無通電状態は 使用温度範囲が適用されます。

試験規格の記載のない試験方法は JISC5402を適用しています。

E-topy of the property of the										
	△の数	訂正記事	設計		検図					
\bigwedge	1	DIS-H-00003088	SH. HOSODA			TS. MIYAZAKI	17. 09. 29			
				承	認	MO. NAKAMURA	06. 01. 31			
				検	図	TS. MIYAZAKI	06. 01. 31			
				担	当	YH. MICHIDA	06. 01. 31			
				製	図	HK. MURAKAMI	06. 01. 31			
注	QT:確認	試験 AT:製品検査 〇:適用項目	図番			SLC4-163517-09				
1	RS	製 品 規 格 表	製品名)F12I	O(4.0)-*DP-0.5V	(81)			
1	10	ヒロセ電機株式会社	製品コト゛			CL537	1/1			